

東京五輪の年が明け、鹿児島県では48年ぶりに国体が開催されることから、県下全域に経済波及効果をもたらす、関係人口構築の取組が重要である。観光は農業に次ぐ重要な産業である。2019年は大河ドラマの反動、韓国問題等もあり宿泊客数が大きく落ち込んだ。イベントや経済変動に左右されることなく、「オン」と「オフ」の境界を少なくして持続できる観光地づくりが求められる。観光客の6割が鹿児島市、霧島、指宿に宿泊しているが、一方では宴会型団体旅行が激減し、温泉地の大型旅館の苦戦が続いている。個人旅行が7割を超え、消費の主役である女性や熟年層の誘客には、地域資源を見直し新たな価値を創造することが求められる。インバウンドが増加し、キャッシュレス、多言語標記等受入態勢の整備も急がれる。外国人は、東アジアの4か国で86%を占めている。欧米からの誘客、富裕層等量から質への転換が街のステイタスを高める。全国44位である「パスポート取得率」と「出国率」のアップは、国際線の維持には欠かせない。ワールドカップラグビーの開催もあり、スポーツツーリズムへの関心が高まっている。冬芝グランド、おもてなしの醸成、宿泊施設の充実等がプロキャンプの誘致を可能とする。今年は奄美の世界自然遺産登録が予定され、また、蘭牟田瀬戸架橋の完成で島が繋がる「甌島」など離島が脚光を浴びる。運賃の軽減化、オンリーワンの自然、エコガイドの充実、島



独特の生活・文化の発信が沖縄との差別化戦略となる。ICTの進展は直接予約、旅行の個人化・多様化に拍車を掛け、PR手法にも大きな変革が求められている。「モノ」から「コト」へ、「共感」を呼ぶ新しい体験のコンテンツをPRし、文化に育てることが重要である。最後に鹿児島においても、国連が提唱する「SDGs」（持続可能な開発目標）の考え方を積極的に取り入れ、「地域総力戦」でバランスの取れた発展を目指すことが大切である。

### 鹿児島県の観光のこれから

**1 国体開催で「クラウンディングアウト」対策が必要、関係人口構築の機会に**

郊外大型食事店、入場施設への誘客、農水産業、商工業、教育等地域総力戦で経済効果創出

**2 3地域から広げる取組が不可欠、個人旅行、旅行スタイルの変化に対応**

「共感」を呼ぶ新しいコンテンツ、滞在を可能とする体験メニュー、地域に行く理由を創り出す

**3 インバウンドへの推進、LCC、P/P取得率、出国率UP、北部九州から誘客**

東アジアで86%、外資系ホテル誘致、量から質への転換、北埠頭活用、汎用性の高いカード導入

**4 食のPR戦略再構築、スポーツツーリズムの推進、MICEの誘致推進**

お茶、黒毛和牛、焼酎等特産品のPR、プロスポーツ、優位性を伴うC・V、五輪期間の誘客苦戦？

**5 世界自然遺産や他の島との連携、ラグジュアリーツーリズム推進、教育旅行**

運賃軽減化、体験メニュー商品化、オンリーワンの景観、エコガイド、外国人誘致、オフ期を減らす

**6 ICT、5Gへの対応、SNS活用、女性を呼ぶ仕掛け、PRを文化に育てる**

「取り残されたくない欲求」を満たす一動画で五感に、「もの」から「こと」、「トキ」

**7 「SDGs」への取組、地域、社会貢献活動、経済活動と環境保護の両立**

景観保護、環境や生態系に優しい旅の演出、住民の丁寧な日々の暮らしが、善良な観光客を呼ぶ

●ホームクラブ出席率80%を目指しましょう！

出席報告	第2956回	第2954回訂正
会員数	40(38)名	40(38)名
出席数	25名	28名
出席率	65.79%	73.68%

●今後の予定

2/26(水)	外部卓話 財津三奈様
3/3(火)	指宿RCとの合同例会
3/11(水)	会員卓話「エネルギー自由化のその後」 上菫真歩会員

市内ロータリークラブのプログラム 記帳メイクアップ★11:30~12:30 ☆17:30~18:30

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	2/20(木)	クラブフォーラム	サンデイズ イン鹿児島	令和	2/24(月)	☆25日に変更 会員卓話	ホテルパレス イン鹿児島
北		★厄払い夜間例会	アートホテル 鹿児島	東南	2/25(火)	会員卓話	サンロイヤル
サザン		★職場訪問例会	東急REI ホテル	城西		クラブフォーラム	東急 REI ホテル
鹿児島	2/21(金)	★西、中央と合同例会	山形屋	西	2/26(水)	外部卓話 宮崎アカデミーRC 成合会長、薬王寺幹事	山形屋
中央	2/24(月)	祝日休会	山形屋	西南		★クラブ定款休会	ゆうづき